

特集

看護協会の災害への取組み ～平時から災害に備える～

- 01-02 特集
看護協会の災害への取組み
- 03-04 地区支部長の抱負
- 05 シリーズ地区支部
- 06 医療安全推進週間
- 07 キラキラ看護師長さん
支え、つながる看護師長2018
- 08 ホットな看護&ホットな日常
マンスリーニュース
- 09-10 ナースセンターニュース
- 11 理事会報告／お知らせ



豊川稲荷秋季大祭（鎮座祭）

<http://www.aichi-kangokyokai.or.jp>

健康であること、
幸福であること、
そのための看護。

公益社団法人 愛知県看護協会

特集

看護協会の 災害への取組み

～ 平時から災害に備える～

各地で地震、豪雨、高潮などの大規模な自然災害が発生しています。看護協会では、平時から災害看護委員会や災害支援ナースとともに災害対策に取り組み、非常時に強い看護協会を目指しています。



● 災害支援マニュアルの改訂

大規模災害に備え、平成25年3月に愛知県と愛知県看護協会は「災害時の看護救護活動に関する協定」を締結しました。平時においては、県主催の会議への出席や担当部署との連携を図っています。

県内で甚大な災害が発生した場合、協会は愛知県災害医療調整本部と連携して被災情報を収集し、日本看護協会を通じて全国から災害支援ナースを受け入れる役割があります。そのため、平成30年2月に「愛知県看護協会 災害支援マニュアル」を改訂し、協会における災害支援体制と災害支援ナースの受援体制、支援者のメンタルヘルスを加筆しました。

熊本地震で被災した病院の看護部長は、災害支援ナースがどのような研修を受けているのかわからず、経験の有無もわからなかったため、業務を依頼するのに苦労したと話しています。日ごろから災害支援ナースの受け入れ体制についてイメージし、職員に周知しておくことが重要です。

(広報委員 前野)



愛知県看護協会 災害支援マニュアル(第五版)と
災害支援ナースポケットマニュアル(第三版)

● 災害看護シミュレーション研修

7月13日(金)



管理者チームの演習の様子



スタッフチームの演習の様子

この研修は「災害看護に関する基本的な知識と被災した病院における災害看護の初動体制確立に必要な要素について、演習を通して体験的に学ぶ」ことを目標としています。

70名の参加を得て午前は講義、午後は管理者チームとスタッフチームに分かれての机上シミュレーション演習を行いました。深夜に発生した地震、刻々と明らかになる被害状況…。管理者側では病院フロア図、スタッフ側では病棟見取り図を頼りに、次々届けられる困難な課題に取り組んでいく研修です。同時にさまざまなことが起こる場合の優先順位は何か。自宅に帰りたいという職員にどう対応するのか。答えのない、ジレンマに満ちた状況を、管理者・スタッフ双方が実際に行き来して情報をやり取りし、くぐり抜けていきます。最後は記者会見でしめくくり。

毎年、実施されているこの研修、今年は、開催の約1週間前に西日本豪雨が発生し、講師やファシリテーターの中には、被災地に先遣隊として赴くべき立場の方々がおられました。マンパワーが少ない中、参加者は状況を理解し、パワフルに演習に取り組みられました。これは自分たちの問題だ、と念じて。皆様の熱意に敬意を表します。

(災害看護委員会委員長 門間晶子)

● 災害支援ナースの育成

災害支援ナースは、被災した看護職の心身の負担を軽減するとともに被災者の健康レベルを維持できるよう医療・看護を提供する役割を担っています。避難所や被災病院での活動を想定し、阪神淡路大震災後、日本看護協会により構築されました。災害支援ナースは都道府県看護協会への登録となります。今年7月の西日本豪雨災害では、被災県(岡山県、広島県、愛媛県)と近隣県の災害支援ナース 延べ1,427人が避難所を中心に活動しました。

愛知県看護協会における災害支援ナースの登録者数は表のとおりです。

表 災害支援ナース登録者数の年次推移 (単位 人)

年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
登録者数	406	334	405	388	402

登録

災害支援ナースへの登録をお願いします!

災害支援ナースに登録するための主な要件

- 愛知県看護協会の会員であること ● 看護経験が5年以上あること
- 日本看護協会の災害看護基礎研修及び愛知県看護協会の災害支援ナース育成研修を修了していること
- 災害支援の活動に意欲的であること
- 勤務施設及び所属長の理解と協力を得ることができる 等

(広報委員 前野)

● 愛知県・津島市総合防災訓練

8月26日(日)

地域の防災訓練に参加し、関係機関と顔の見える関係づくりに努めています。

津島市東公園で開催された防災訓練へ災害看護委員、災害支援ナース、海部地区支部役員の総勢32名で参加しました。県民総ぐるみの防災訓練で、今年のテーマは「連携と協働～地域の命はみんなで守る～」で、地域住民、医療機関、民間企業、行政機関など85機関が参加し地域全体で行う訓練でした。広報委員が取材しました。

トリアージ



災害支援ナースは、ロジスティク(後方支援)係とペアを組み、被災された負傷者に対して、受傷機転、時間経過などを素早く確認し、効率良く治療を行うための一次トリアージを行いました。災害支援ナースとして「トリアージは負傷者の流れを止めないこと、素早く治療へ誘導すること、そのために指揮担当者と連携を図ること」と常に迅速かつ冷静な判断が求められます。

軽症者テントでは、搬送された患者の二次トリアージを行い、患者の負傷程度や症状を丁寧に確認し、時には中等症へ再判定することもありました。治療を待つ軽症患者を見守るための人員を配置するなど「今、何が必要か」を考え、臨機応変な対応が求められます。

模擬患者からは「丁寧に対応してくれた」という声が聞かれる一方、「実際には患者はパニックになるから、支援者は落ち着いて対応してもらいたい」と期待の声も寄せられました。訓練に参加した災害支援ナースからは「訓練を通して、愛知県の災害支援ナースの顔合わせができるので、実際の災害支援時の連携にも有利になる」という声が聞かれました。

◀トリアージの様子

避難所、福祉施設での活動

避難所での健康チェック▶



公園内の児童館では「避難所で生活する被災者への生活支援」として、来場者に声を掛けながら血圧測定などの健康チェックをしました。同会場では災害支援ナースの啓発も行われ、チラシを受け取った来場者からは「災害支援ナース、知らなかったです。ニュースを見ていて皆さんはどこから来るのかと思っていましたが、すぐに出向くとはすごいですね」という声が聞かれ、災害支援ナースの活動の周知が必要だと感じました。

公園近くの福祉施設においては、災害支援ナースによって災害時要配慮者への健康チェックと施設における生活状態のアセスメントが行われました。施設職員から「災害支援ナースの活動を見ることで、日ごろから施設内で体制整備をする必要性を認識した」と感謝の言葉がありました。多くの災害支援ナース、災害看護委員、地区支部役員が活躍した訓練でした。

(広報委員 武田、深谷、藤井)



▲災害支援ナースの啓発



地区支部長の抱負



名古屋地区支部

支部長 **和田 一枝**
(国家公務員共済組合連合会名城病院)



今年度の課題は、名古屋東西地区支部から引き継いだ看護情報共有書と人材共有システムの実用化があります。

病院の中で培った看護の力を地域で活かし、在宅看護の力を知って活かすことが、病院から地域へ療養の場を繋げていくために必要です。連携のための仕組みづくりと、情報共有のための場の提供を活動の中心に置き、地域の看護職の皆様のご意見を聞きながら進めていきます。顔の見える関係からハラとウデでつながる機能連携に発展していくために、豊富な人材と多様な施設があることを強みに、都市部ならではの連携の仕組みづくりに貢献していきたいと考えています。

海部地区支部

支部長 **峯田 幸美**
(偕行会リハビリテーション病院)



少子高齢化問題が深刻化している支部で、地域包括ケアシステムを推進する必要に迫られています。看護職の連携はもちろんのこと、多職種や地域の方と協力し、地域医療における課題共有や解決に向けての意見交換を進めていかなければと考えます。

今年度は、多職種意見交換会、地域包括ケア推進看護連携検討会、弥富市健康フェスタ2018への出展等を予定しています。非会員の皆様にも呼びかけ、より多くの看護職と活動できるよう注力していきます。また、住民の方との触れ合いを通して、地域の課題を知り活動に活かしたいと思えます。会員1,118名と少人数の支部ですが、チームワークの良さを強みとして、皆様と共に地域へ貢献していきます。

尾張西部地区支部

支部長 **鮫島 清美**
(一宮市立市民病院)



支部再編により「住民が住み慣れたところで療養しながら、自分らしく最期まで暮らす社会」の実現に向け、今まで以上に地域に密着した活動ができると考えています。

具体的には、地域包括ケア推進看護連携検討会を通して、一宮市・稲沢市の行政の方や地域で活躍されている方と地域包括ケアシステムの推進に向けての活動状況や課題を共有していきます。看護の力で地域包括ケアシステムが円滑に機能するように、課題解決に向けて施策を協働し考えていけたらと思っています。「健康な長寿社会になくってはならない看護職」として役割遂行できるよう、支部役員一同、元気に楽しく活動していきます。

尾張北部地区支部

支部長 **木全 啓子**
(小牧市民病院)

尾張地区支部から小集団化したことで顔の見える看護連携を強化し、地域に密着した活動の実現を目指したいと思えます。

今年度予定している事業は、「予防と自立を支える」をキーワードに11月に高齢者の栄養管理研修会を、1月には「嚥下ピラミットの構築」をテーマした多職種意見交換会を計画しています。また、10月には地域の皆様の健康増進のお役に立てるよう、まちの保健室も開催します。

尾張東部地区支部

支部長 **亀島 加代**
(公立陶生病院)

今年度は「主役が市民！広げよう、地域ネットワークコミュニケーション！」を支部のトータルテーマとして活動を展開します。

当支部は、やきもの産業・陶芸文化と比例し慢性呼吸器疾患が多いという特徴があります。そこで、9月に「夏から実行！肺炎予防」と題して公開健康講座を開催し、肺炎球菌ワクチン接種キャンペーンを実施しました。また、瀬戸市健康まつりに参画し、健康相談や転倒予防体操、子ども向けにはナースの白衣着用体験を行います。多職種連携交流会は、テーマを「災害の備えは平時から！自らを守り、地域も守る災害時連携を考えてみよう」とします。

地元の看護職だからこそできる連携に取り組み、看護職が地域包括ケア推進のキーパーソンであるというプライドをもって活動を展開します。

平成30年4月から、支部を7から10へ再編し活動が開始しました。
地区支部長さんから、課題や抱負を語っていただきました。



知多半島地区支部

支部長 **久米 淳子**
(常滑市民病院)



今年度の支部活動のテーマは「繋がりを広げる、深める、強くする」です。地域包括ケアシステムを推進するためには、地域の特性を把握し、地域の資源を活かし、地域の人達を支え続けられるネットワークを創り上げていく必要があります。

知多半島は総人口約63万人で微増傾向ですが、半島内でも減少に転じている市町村もあります。自治体差を乗り越え、ネットワークを構築し、地域包括ケアシステムを推進していきたいと思えます。看護職はもちろんですが、地域の人達を支える多職種に声掛けをし、多職種連携研修会を開催します。また、地域で暮らす方々を対象に時流に合ったテーマを考え、公開健康講座を開催します。

西三河北部地区支部

支部長 **阪口 浩美**
(愛知県厚生農業協同組合連合会 豊田厚生病院)



本支部は、面積は広いですが豊田市とみよし市の2市から構成されており、連携が取りやすいと感じています。この地域での病病連携・病診連携・看看連携を進め、住民の皆様の病気の予防・健康増進・傷病時の支援に取り組んで参りたいと思っています。

先日、イオンスタイル豊田で支部初の“まちの保健室”事業を実施しました。参加者は少なかったのですが、役員一丸となり取り組むことで団結が強まりました。様々な活動を通して、地域の皆様に看護協会の活動や看護職の役割を知っていただく機会にしたいと思えます。

西三河南部西地区支部

支部長 **石川 真理子**
(刈谷豊田総合病院)



困った時には、すぐに相談できる、そんな身近な存在となり得よう近隣施設との関係づくりを強化したいと考えています。西三河南部西医療圏にて数年前より活動している病院看護会と協働し、連携の強化を図っていききたいと思います。

地域で暮らす人々に、人生の最期まで住み慣れた地で自分らしい暮らしを続けてもらえるように、包括的な医療提供体制を整備していくことが求められています。支部の課題把握が遅れているのが現状です。同じ医療圏で働く様々な分野の医療従事者と手を携え、地域で暮らす人々のいのち・暮らし・尊厳を護り支えられる体制を、ともに作っていききたいと思います。

西三河南部東地区支部

支部長 **森田 眞奈美**
(岡崎市民病院)



昨年までの西三河地区支部が分化し、会員が少ない支部となりました。1人でも多くの会員を増やすことを目標にしています。

8月に岡崎市幸田町地域包括ケア多職種研修(いえやすネットワーク多職種研修)として、災害に関する研修を計画したところ、開始直前に台風のため中止となり残念でした。機会があれば再度計画したいと考えています。

支部として、医療や介護関係者の顔の見える関係づくりから、子ども、障がい者支援まで地域共生社会を目指した連携強化、包括支援に向けて活動していきます。保健師、助産師、看護師が一丸となって元気な支部を目指していきます。

東三河地区支部

支部長 **中尾 久美子**
(豊川市民病院)



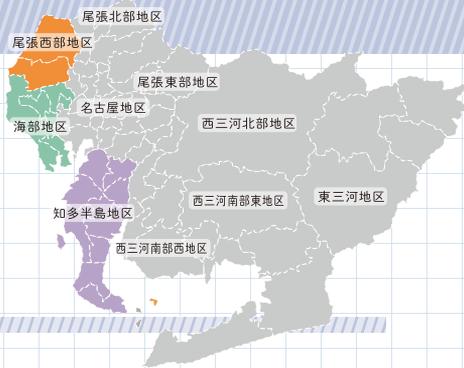
本支部は、愛知県の二次医療圏域では東三河南部と東三河北部になります。

平成28年度から地域多職種連携退院調整会議を実施し、他施設の退院調整に関わる情報を共有するとともに、関係施設との連携を図ってきました。今年度は、更にパワーアップするために、9月に「地域包括ケア推進看護連携検討会」シンポジウムを開催し、病院看護師・訪問看護師・在宅支援コーディネーター・保健師をシンポジストに地域の現状と課題について意見交換をします。

本地域では、施設の看護部長が中心となり、セミナーを開催し地域の看護の質の向上を図る活動しています。地域住民の健康と福祉の増進に向けて、5月に「東三河ふれあいフォーラム2018」、11月に豊川市で開催される「地域包括ケア情報展」では健康講座を開き、看護職の魅力をお伝えできたらと思えます。

多職種意見交換会

今号から、地区支部の活動の様子をシリーズでお届けします。



知多半島
地区支部

日時 平成30年7月7日(土) 会場 常滑市民病院

テーマ 「地域でつなぐアドバンス・ケア・プランニング」

知多半島内から、看護師・保健師・介護福祉士・ケアマネジャー・ソーシャルワーカー・理学療法士・薬剤師・歯科衛生士・視能訓練士等、まさに多職種114名が集まりました。

第1部では、公立西知多総合病院の緩和ケア認定看護師 松岡サチコ氏から「地域でつなぐアドバンス・ケア・プランニング」の講演があり、第2部では、常滑市民病院のがん性疼痛看護認定看護師 三浦赤実氏の進行により、4人1グループとなり『もしバナゲーム』を行いました。笑顔あり、頷く姿ありで、活発な意見交換ができました。

講演では、地域で暮らす方々が、意思表示できる環境を整えていく必要性を改めて感じました。『もしバナゲーム』を通して、「今の自分にとって何が大切で、何が大切でないのか」を考える機会となりました。「自己の価値」を語るだけでなく、「他者の価値」も聴く機会になり、多職種連携の基本である『自己理解』の一歩になったと考えます。

(知多半島地区支部長 久米 淳子)



海部地区
支部

日時 平成30年8月7日(火) 会場 愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院

テーマ 「病院と施設の連携強化」

参加者は、看護職・医療および施設相談員合わせて約50名で、看護職については定員30名を上回る応募を頂きました。病院と施設という垣根を越え、顔見知りの方もそうでない方もこの機会に距離を縮めて頂きたいという思いで、愛知県医療ソーシャルワーカー協会との共催で企画し、熱気あふれる意見交換会となりました。

第1部では、地域包括ケアシステムの理解や地域の高齢者施設・住居整備の現状について愛知県医療ソーシャルワーカー協会事務局 末藤和正氏より講義を頂き、第2部では、看護職3~4名で構成された合計8グループを相談員が移動する方式にて、意見交換を行いました。参加者からは、これまで地域包括ケアシステムに参加している意識はなかったけれど、既に自分たちも参画しており、役割を担っていることを実感したという声が聞かれました。末藤和正氏が「地域包括ケアシステムは、地域の特性に応じて自主的に創りあげていくことが必要」と話されていたように、多職種が顔を合わせて話し合える機会を支部で企画し、支援していきたいと思えます。

(海部地区支部長 峯田 幸美)



尾張西部
地区支部

日時 平成30年8月22日(水) 会場 一宮市立市民病院

テーマ 「地域包括ケアシステム成功への架け橋
～それぞれの立場から医療・介護連携の円滑化～」

看護師(病棟、退院支援)、ケアマネジャー、MSWの72名の参加がありました。講演では、医療法人井上内科クリニック居宅介護事業所所長の岡田卓也氏より「病院との連携について」ケアマネジャーの立場から課題提言がありました。それを元に、グループワークでは、ケアマネジャー、看護師、MSWがチームになって退院支援の事例検討を行いました。普段聞けなかったことを確認し、連携の土台となる「相互理解」を促す場となりました。

アンケートからは、「看護職の役割の重要性や連携の大事さを実感」、「自施設の課題を発見」、「ケアマネジャーとの関係強化が鍵」等、自分の立ち位置での役割の方向性が見いだせたとの所感が寄せられました。意見交換会を通して課題を克服し、病院の看護職の役割強化や連携強化のきっかけ作りが出来たと感じました。

(尾張西部地区支部長 鮫島 清美)



医療安全推進週間

平成30年
11月25日～12月1日

毎年、11月25日(いい医療に向かってGO)を含む1週間は、「医療安全推進週間」です。
今年も11月25日(日)～12月1日(土)の7日間です。2施設の取り組み状況をご紹介します。

愛知医科大学病院

患者安全の確保・推進のため、医療関係者および市民や患者さんの安全に対する意識向上とご理解を得ることを目的に、外来スペースに特設ブースを設置して医療安全推進週間イベントを開催しています。

【平成28年】

「転ばない・転ばせない・骨折しない」

- 転倒防止体操
- 病室空間の再現
- 転倒予防DVD放映
- 医療安全川柳

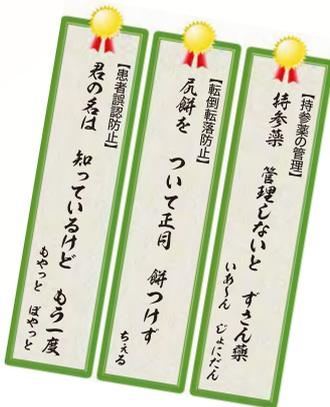


【平成29年】

「患者ファースト」～わかるまで聞こう、話そう、伝えよう～

- 患者の医療参加(SPEAK UP!)
- 医療安全川柳
- 相談ブース(誤嚥性肺炎予防とケア)
- 嚥下体操DVD放映

患者さん自らの医療参加をめざし、「声に出してわかるまで尋ねよう、伝えよう」のリーフレットを配布しました!



(愛知医科大学病院 医療安全監理室 小林 美和)

愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院

17年の歴史を持つ「医療安全強化月間発表会」は、医療安全に関する意識向上を図る目的で、5月から取り組みを開始し11月にポスターや口頭による発表を行っています。

平成29年度は、「必ずある!私にも出来ること」をテーマに、32の部門・部署からの取り組み報告がありました。新たな取り組みとして、2つの体験型ブースを設けました。一つは、「コールマット使用時の入院環境」を職種関係なく、実際のKYT(危険予知トレーニング)を体験していただきました。二つ目は、「病院食を安全目線 $\odot\odot$ で考える」ために、実際提供されているチキンソテーを常食や刻みなどの形体で試食し、食の安全について参加者に考えていただきました。

来場者数は延べ1,310名、アンケートでは、約99%が参考になったと回答され、満足度の高い発表会でした。

● 第17回強化月間発表



● 転倒・転落KYT体験



● 病院食を安全目線 $\odot\odot$ で考える



(愛知県厚生農業協同組合連合会 安城更生病院 医療安全管理部 加藤 和子)

キラキラ 師長さん!!

平成27、28年度の看護師職能委員会Iにおける調査「変化する医療提供体制に応じた看護師長の役割に関する情報収集・課題発見」では、看護師長の担うべき役割について、「部署の課題の明確化/方針立案/運営」、「安全管理」、「看護の質の保証/改善/向上」、「スタッフの心身の健康管理」の4つが特に重要度が高い結果でした。

多くの業務を抱え日々奮闘中の看護師長さん、不機嫌になってしまうことはありませんか。しかし、師長さんがキラキラと輝いていると不思議とスタッフもキラキラとしてきます。

キラキラ師長になるために今日からできること

コミュニケーション

…当たり前のことを忘れてはいませんか?

- ◆笑顔で挨拶
- ◆スタッフの意見を聴く
- ◆スタッフの健康に気を配る
- ◆スタッフへの声掛け、誉める
- ◆自分の考えをスタッフに伝える

ワーク・モチベーション(仕事意欲)コントロール

…やる気を自己調整する

◆自分を知る

自分のモチベーションを振り返り、自分のやる気スイッチに気づく
「自分のモチベーションを自分で左右することができるなら、やる気を自分で維持しやすくなる。必要な時に高めることもできるし、リラックスもできる。」注1)

◆モチベーションは周囲の人に伝わる

「モチベーションの高い上司の下では、部下のモチベーションも自然と高まる」注2)
師長は自分のモチベーションをコントロールし、ご機嫌でいましょう。

看護師長を長年やってきた看護部長曰く…

「自分のモチベーションのスイッチに気づくことで、自分の気持ちを客観的にみることができるようになりました。自分のモチベーションの状態を知りコントロールすることで、気持ちが安定し仕事が進んでいった経験があります。」

看護師長は、病院にとっても、看護部にとっても、スタッフにとってもなくてはならない存在です。キラキラ師長になって、すべての看護職を輝かせてみませんか。愛知県看護協会では、毎年「看護師長交流会」を開催し、師長間での情報共有・意見交換を支援しています。

(広報委員長 相田)

注1)金井壽宏:働くみんなモチベーション論, NTT出版, 2010. 注2)陽川一守:モチベーション・マネジメント, メヂカルフレンド社, 2013.

支え、 看護師職能委員会I交流会

つながる看護師長 2018

中小規模病院で勤務する看護師長が他施設の師長とつながり、看護管理者としてPDCAサイクルを回していくことを目的として開催しました。出席者は看護協会員だけでなく、非会員も加わった交流会でした。

名古屋通信病院看護師長 鈴木晶子氏より「新WLB推進事業の実践」を通し看護師長として職場改革を行った実践報告がありました。自施設の現状をSWOT分析で明らかにし、小規模病院であるため看護部だけでなく病院全体で取り組み、ビジョンを多職種で共通理解しました。看護師長としては、業務・勤務体制の見直し、ほめる文化・看護観の醸成を行い離職率の低下にもつなげることができました。他施設の取り組みを参考に工夫し、自施設にも取り入れ実践することが大切です。

後半は「看護師長としての夢を語る」をテーマにグループ討議を行いました。「人材育成」「人員確保」「クレーム対応」「院外研修参加の難しさ」の話や看護管理の成功体験を語り、同じような悩みを抱える看護師長さんが活発な意見交換を行い、気づきや発見から部署で参考にできること等前向きな解決策を見つけ笑顔が輝いていました。出席者から、「元気をもらった」「参考にできる事があった」「おもしろかった」と意見が聞かれ、名刺交換も行われ笑顔で支えつながった看護師長さんの姿がありました。

(広報委員 青山、前野)



愛知県知事へ要望書を提出 平成30年10月9日

〔要望事項〕

1. 訪問看護出向事業の推進
2. 看護基礎教育の4年制化への変更の推進
3. 特定行為ができる看護師の養成に向けた研修体制の構築
4. 保健師の計画的な人材確保と適切な配置の推進
5. 看護研修センターの建設に向けての支援



「GOOD&NEW」で チームカアッ!!

救急外来で勤務しています。年間12,000台もの救急車を受けている慌ただしい現場では、なかなかスタッフ間のコミュニケーションを図るのも大変です。それならと、皆で顔を揃える朝のミーティングに愛知県看護協会セカンド研修で学んだ「GOOD&NEW」を取り入れてみました。

24時間の間にあった、良いことや新しい発見を皆の前で発表します。院外研修で学んだことや、休日の楽しかった出来事など順番に(トータル5分くらい)伝えます。救急外来の緊迫した空気が一瞬緩みます。そして、お互いの事が少しずつ解り合えます。そして、良いことや新しい発見探しは、ポジティブシンキングにも繋がっていきます。

忙しいからこそ、お互いを思いやりながらチームカアッで頑張っていきたいですね。

明日は何を伝えよう……。 (うけるかな? 笑いが取れるかな? なんて考えながら……)

(by れおさん/名古屋市)

体験談大募集!

身の回りで体験した「心温まる出来事」「ホロリと涙する場面」などを募集しています。

【文字数】200~300字 【応募方法】郵送またはメール
【記載事項】氏名、施設名、連絡先、匿名希望の方はペンネーム

- 郵 送… 下記へ封書にて送付
〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番18号 公益社団法人 愛知県看護協会 広報委員会宛て
- メール… 件名を「ホッな看護」として右記アドレスへ送信 E-mail: aikn@aloros.ocn.ne.jp

※応募頂いた原稿は返却いたしません。広報委員会で選考して「愛知県看護協会だより」で掲載・広報として活用させていただきます。

ホッとな看護 & ホッとな日常

成長と優しさ

訪問看護部署で新しく働き始めた20代のA君。最初の頃は利用者さんとの会話が続き、沈黙の中にテレビの音が大きく聞こえていたのが印象的でした。久しぶりに訪問に同行し様子を見守っていたところ、入浴介助中のA君の声が聞こえてきました。「畑のトマトが大きくなりましたねえ」「お孫さん遊びに来ましたか?」利用者さんの気がかりを受け止めて、しっかりとコミュニケーションを取っているA君がいました。利用者さんからは、「あの子が初めて一人で訪問するときは、俺のところに来ればいいよ」と言ってもらえるまでに。

A君の成長と、利用者さんの優しさに、こころがホッと温まりました。

(by はなさん/日進市)

協会のこの3ヶ月

Monthly News マンスリーニュース

7月

23日(月) 第3回常務理事会
30日(日) 愛知県看護連盟との懇談会… 愛知県看護連盟事務所

8月

2日(木) 訪問看護職員講習会eラーニング 開講式
7日(火) 認定看護管理者教育課程サードレベル 閉講式
21日(火) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 開講式
23日(木) WLBインデックス調査 現状分析のための説明会
26日(日) 愛知県・津島市総合防災訓練… 津島市東公園
27日(月) 第2回地区支部長会議、第4回理事会

9月

13日(木) 看護師養成所への進学支援のための研修・交流会
15日(土) WLB推進ワークショップ(平成30年度開始施設)
15日(土)~16日(日) あいち県民健康祭… あいち健康プラザ
20日(木) 訪問看護養成講習会 閉講式
25日(火) 摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程 開講式



あいち県民健康祭

※会場の記載のないものは、愛知県看護協会です。

護ります。
支えます。
歩みます。

あなたいつも
一緒に。

2018 Autumn

ナースセンター NEWS!!



愛知県ナースセンターは厚生労働大臣許可の

無料職業紹介所です。

看護職の方の就職活動を

サポートします!!

離職届けは
お済みですか?

看護師等の届出サイト

とどけるん



todokerun

求人・求職の
登録はこちらから

ナースセンター

都道府県看護協会による
無料職業紹介事業



<https://www.nurse-center.net/hccs>

<https://todokerun.nurse-center.net/todokerun/>



看護の心 普及事業

将来の人材確保につながる重要な事業です。
様々な事業を通じて、一人でも多くの仲間が増えることを願っています!!

進路相談会

7月7日(土)、県内の看護学校49校が一堂に会し開催しました。
当日はあいにくのお天気でしたが、来場者324人と多くの方に参加いただきました。



「大学と専門学校の違いは?」
「助産師になるには、どんな進路があるの?」など、ナースセンターブースには多くの相談がありました。

会場内はとても熱気にあふれていました!
相談を待つ間にも、資料を見ている姿が…。
皆さんとても熱心でした。



参加者の声
Voices of
participants

参加学校

- 毎年この会に参加していますが、多くの方に受験していただいています。
- 早い日程でよかった。●会場もアクセスもよい。

参加者

- どんな質問でも親切に答えてくださり参考になった。
- 多くの学校が参加しているので、各学校から話が聞けるので嬉しい。

●愛知県ナースセンター

〒466-0054 名古屋市昭和区円上町26番15号 愛知県高辻センター1階
TEL: 052-871-0600 / FAX: 052-883-3686
メール: aichi@nurse-center.net

●名駅支所

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目4-38 愛知県産業労働センター(ウイングあいち)17階
TEL: 052-433-1173 / FAX: 052-433-1175
メール: meieki@nurse-center.net

名駅支所は7月に3周年を迎えることができました!
ありがとうございます!

一日看護体験

今年度初めて「社会人」を対象に実施しました。

〔開催状況〕

	実施日	参加者	研修病院
高校生 一日看護体験	8月1日(水)	1,407名 (189校)	73病院
社会人 一日看護体験	8月29日(水)	8名	3病院

白衣に着替えて
記念撮影♪
「看護の道」への
第一歩!!



参加者の声 Voices of participants

高校生の声

- 忙しい中で、たくさんの方を教えてくださいました看護師の皆さんに感謝したいです。
- 看護師の一つ一つの仕事の重大さや責任の重さが伝わった。
- 看護師さんの観察力はすごいと思った。

社会人の声

- 看護の仕事は「その人がよりその人らしく生活できるようお手伝いする」仕事なのだなと思った。リハビリを通して、小さなことでも何か達成し、患者さんが自分らしさを得るのを見て、嬉しく思え、看護師の仕事の楽しさを知ることができた。
- 笑顔で接する看護師の姿にプロとしてのすごさを感じた。



VOICE ▶ 研修施設の方よりメッセージをいただきました!

一日看護体験を終えて

さくら総合病院 看護部長 加納 陽子

昨年に続き今年度も8名が参加して下さいました。皆さん楽しそうにガヤガヤ、ゆるゆるで教室の延長線上です。担当者からオリエンテーションを受け研修場所へと向かいました。研修が終わって帰って来た彼女(彼)等が朝とは全く違う表情をしている事に驚きました。皆背筋がピンと伸び、凛として目もキラキラ輝いています。別人です。研修後の感想も「より一層看護師になりたい気持ちが強くなった」「勉強頑張りたい」と、その力強い言葉に感動しました。学生さんのピュアな感性が大ききものを掴んできました。全く驚くばかりです。得たものは明日からの生き方の土台となると言っても過言ではないように思います。スタッフも共に学ぶ事ができ、また一つ成長させて頂きました。



(左:さくら総合病院 HPより)

就職相談会&プチセミナー開催

これから、
皆さまの地域に
お邪魔します!

イオンモール岡崎&イオン八事店

8月4日(土)、10月6日(土) 看護職のための就職相談会を開催しました♪
当日は相談会の他、睡眠や健康セミナーを同時開催!!
買い物ついでのお客さんもお寄りいただき、大変好評でした☆

ご主人とお子様と、
家庭との両立には
家族の協力が
欠かせません!

就業相談と
バランスチェック!!

上級睡眠健康指導士直伝
〜心地よい眠りのための
ストレッチ!〜



●豊橋支所

〒440-0888 豊橋市駅前大通2丁目33番地の1 開発ビル4階
TEL: 0532-52-1173 / FAX: 0532-52-1166
メール: toyohashi@nurse-center.net

愛知県ナースセンター

検索

<https://www.aichi-nurse.com/>



第50回 日本看護学会—看護管理—学術集会を愛知県で開催

日時：2019年10月23日(水)、24日(木) 場所：名古屋国際会議場

主催：公益社団法人日本看護協会・公益社団法人愛知県看護協会

演題申し込み期間 2019年2月1日(金)～6月1日(土)

多くの演題のご登録をお待ちしています！

理事会報告

第4回 理事会 平成30年8月27日(月)

協議事項

- 1 愛知県看護協会「みどり募金」助成要綱の見直しについて
協議後、今回は見直しせず
現行通りで運用することとなった。
- 2 平成30年度 看護制度委員会委員の変更について
原案が承認された。

報告事項

- 1 平成30年度 日本看護協会第3回理事会報告(7月25日～26日開催)
- 2 平成30年度 全国職能委員長会議報告(8月8日開催)
- 3 平成30年度 愛知県看護協会事業報告(4月～6月)
- 4 平成30年度 全国准看護師制度担当役員会議報告(8月6日開催)
- 5 平成30年7月 西日本豪雨被災地への見舞金の贈呈について
- 6 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師教育課程閉講について

西日本豪雨、北海道胆振東部地震 被災地への見舞金の贈呈

平成30年7月の西日本豪雨及び9月の北海道胆振東部地震により被災された方々に心よりお見舞い申し上げますとともに被災地の1日も早い復興をお祈り申し上げます。愛知県看護協会は、被災地の広島県、岡山県、愛媛県及び北海道の看護協会へみどり募金から見舞金を贈呈しました。

愛知県看護研究学会の開催

11月16日(金)まで参加申し込み中。当日参加も可能です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。詳しくは愛知県看護協会ホームページをご覧ください。

日時 平成30年12月12日(水) 10:00～16:00 会場 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)

テーマ みんなで考える職場環境

内容 特別講演 「感情労働としての看護 ～看護のストレスをどう生き延びるか～」

講師：武井 麻子 氏 (日本赤十字看護大学 名誉教授)

専任教員募集 訪問看護認定看護師教育課程専任教員

応募要件 当該分野の認定看護師、または関連分野の専門看護師有資格者であり、認定看護師教育に関心のある者。詳細は担当までお問い合わせください。

勤務場所 愛知県看護協会 **担当** 浅田 **Tel:052-871-0761**

表紙の写真について

豊川稲荷は日本三大稲荷のひとつとされ、年間数百万人の参拝客が訪れる豊川を代表する観光地です。写真は豊年を感謝する祭りとして毎年11月に開催される秋季大祭 鎮座祭(ちんざさい)で、神輿渡御や稚児行列などが賑やかに行われます。また、豊川市はいなり寿司発祥の地のひとつと言われており、豊川稲荷周辺のお店では様々な稲荷ずしを楽しむことができます。皆さんもぜひ豊川に、来て、観て、食べりん！

編集後記

各地で最高気温を塗り替えた酷暑の夏も終わり、上半期は大雨・台風・地震など自然災害に翻弄され、災害対応の重要性を身に染みて感じた半年でした。

秋本番。秋の食欲に勝るものはありません。栄養を蓄え、運動をして体力をつけ、来る冬に備えましょう。

広報委員 前野

●会員数 37,338人(平成30年8月31日現在)(保健師554人/助産師1,497人/看護師34,381人/准看護師906人)